

## Vol.4 茅ヶ崎 商店街さんぽ

茅ヶ崎ライフを満喫できる個性豊かな商店街(商店会)を紹介します。



ちがさき山の手四つ葉会



さまざまな業種のお店が加盟しており、ポイントが貯まる「四つ葉カード」でお得に買い物を楽しむことができます。ぜひご利用ください。

### どなたとどこ? 複数のエリアで構成される商店会



茅ヶ崎駅の北口に位置する複数のエリアで構成される商店会です。商店会内の店舗で使える四つ葉カードもおすすめ。

商店会理事長  
藤巻さん  
(ハーサロン  
フジマキ)



おすすめやイベント情報などをHPでチェック



### イチオシ情報



### ハーサロンフジマキ

カットや癒やしのエステはもちろん、育毛メニューや髪に優しいカラーが好評です。お子さんから年配の方まで幅広く支持されています。

## 市民の活動だより

ちがさき市民活動サポートセンター  
☎(88)7546

ピースカフェ ちがさき



平和な未来を願う朗読会

戦争や貧困・差別、核や環境問題などをテーマに写真展、講演会、上映会などを開催して、幅広く市民の方たちと平和や人権について共に考える機会をつくっています。

### 未来を「あきらめない」

「9・11米国同時多発テロ」のときに、アフガニスタンの歴史と中村哲医師のことを知りました。暴力の連鎖を止めるため、ささやかでも行動しよう、写真展からスタートして22年目。いのちが大切にされる社会を願って活動しています。イベントの参加者と思いを共有できた時にやりがいを感じます。1/20(土)には文教大学で講演会を、5月には3~4本の連続上映会「シネマ@ピースカフェ」を予定しています。誰もが尊重される社会をつくりたいと思っている方、一度遊びに来ませんか。

活動日 定例会月1回、上映会など年に数回

場所 市内の公共施設

問合せ ☎(53)4448 生越



生越 武子 副代表

## 茅ヶ崎ゆかりの人物たち

第三十一回

野田 高梧

2023年は、脚本家・野田高梧の生誕130年の節目の年でした。野田はさまざまな映画作品の脚本を手がけました。特に、10歳年下の映画監督・小津安二郎とは、二人で旅館・茅ヶ崎館に長期にわたって滞在しながら、多くの名作を生み出しました。

### 映画雑誌記者から脚本家へ

野田は、1893年11月19日に現在の北海道函館市に生まれました。野田の母が芝居好きだったこともあり、中学生の頃からよく映画鑑賞や芝居見物をしていました。また、仲間と同人誌を作ったり、雑誌「文章世界」などに投稿して入選したこともきっかけとなり、大学の文科を志すようになります。1913年に早稲田大学英文科に入学。在学中も市村座に通い、芝居見物も続けていました。

卒業後は、映画雑誌記者となって映画批評を書いていたが、安定した収入を得るべく、1921年に東京市役所市史編纂室に入ります。しかしその後、松竹蒲田撮影所に入社した知人の紹介により、当時の撮影所長・野村芳亭と会い、試作シナリオが認められたことで、1924年に松竹に入社しました。入社後、新人監督のデビュー作の脚本を手がけるようになります。一度は親友・高田保演出の『水の影』を手伝うために松竹を一時退社しますが、すぐに復帰。1930年代初めには、野田は脚本家としての地位を確立し、1938年公開の野村浩将監督作品『染かつら』のヒットにより、野田の名前は世間に広く知られるようになります。

1946年に松竹の体制変更に伴い退社しますが、契約を結んで脚本家として活躍し続けました。1958年に神奈川文化賞、1961年に小津とともに芸術選奨文部大臣賞、1967年には勲四等旭日小綬章を受賞しました。

### 小津安二郎との出会い

野田が最初に小津安二郎と仕事をしたのは、1927年の小津の監督昇進一作目『懺悔の刃』でした。その後、サイレント作品時代から長きにわたりコンビを組むようになります。戦後、小津との連作、『晩春』(1949年)、『麦秋』(1951年)、『東京物語』(1953



小津・野田名入り鰯元の暖簾(個人蔵)

や長野県蓼科の別荘に長期にわたって滞在して脚本を練り、二人は公私ともに親交を深めていきました。

### 茅ヶ崎での逗留生活

戦前から松竹は、東京近郊の旅館を一定期間借り上げて監督・脚本家の製作拠点として提供しており、茅ヶ崎館もそのひとつでした。

1947年頃から、野田と小津は、茅ヶ崎館の二番の部屋に長期間滞在するようになります。しかし、野田達は、茅ヶ崎館にこもって脚本執筆をするだけでなく、茅ヶ崎海岸へ散歩に出かけたり、茅ヶ崎駅前まで映画鑑賞に行ったり、外食にも出かけていました。特によく利用していた店は、当時南湖にあった鰯元と、駅の近くにあった「寿司丸福」で、店名が野田と小津の日記に頻りにあらわれます。のちに二人は、「小津安二郎・野田高梧の名前を染め抜いた暖簾を、鰯元に贈っています。また、野田と小津は外食で済ませるだけでなく、「二番」の部屋の中で自炊もしており、頻りに「トリのスキヤキや「トンカツ」を作っていました。

茅ヶ崎館に逗留していた野田達の元には多くの映画スタッフや俳優、家族などが訪れており、訪れた客と深夜まで語っていたことも日記から伺うことができます。

茅ヶ崎に滞在していた時の野田と小津の様子や、二人の日記から見る茅ヶ崎は、茅ヶ崎ゆかりの人物館の企画展「小津安二郎・野田高梧展」二人の日記が映し出す茅ヶ崎」で詳しく紹介しています。

【文化推進課市史編纂室担当】

☎(81)7148

広告掲載のお申し込み・お問い合わせは広報シティプロモーション課☎(81)7123へ

サイトはこちらから

全面リフォーム  
**新築二世**

リフォームで新築同様に生まれ変わります!

簡単な修繕から新築・建替え なんでもご相談ください!

**福岡ホーム建設株式会社** 0120-421-412

〒253-0002 茅ヶ崎高田4-4-5 営業時間:8:00~17:00 定休日:火曜日・水曜日  
特定建設業許可番号 神奈川県知事許可第28712号 一級建築士神奈川県知事登録第12631号

## 湘南茅ヶ崎やすらぎ霊園

# 立ったままお参り出来ます

総額 **0.625㎡**

**99.6** (税込) 万円※

※年間管理料別途

ベットと一緒に納骨可能です。

段差のない安心のバリアフリー設計。車イスでも安心、広く作られた駐車スペース。緑が多く、静かな空間なので落ち着いた気持ちでお参り出来ます。

所在地 茅ヶ崎市浜の郷356

詳しくはこちらから

【湘南茅ヶ崎やすらぎ霊園概要】  
 ◎所在地/神奈川県茅ヶ崎市浜の郷356  
 ◎墓地管理者/宗教法法人龍前院  
 ◎墓地等敷地面積/1,670.96㎡ ◎総基数/394基  
 ◎施設/トイレ、水場、駐車場完備  
 ◎宗旨宗派/不問(在来仏教に限る)  
 ◎許可番号/神奈川県指令第80-010-00007号  
 ※記載内容は変更される場合がございます。予めご了承ください。

詳しい資料差し上げます **0120-02-8888**

メモリアルアートの大野屋 大野屋 湘南

ナンバーがついてると毎年税金がかかってます! 置きっぱなしで景観悪くしたりスペースを取っていませんか?

## オートバイ・原付の 無料処分

無料相談

**0120-297-819**

出張から引取、ナンバー返納代行まで完全無料!!

通話料無料

古くても、ボロボロでも **無料!**

鍵、書類がなくても **無料!**

事故車、故障車でも **無料!**

ナンバー返納、税金止めも **無料!**

バイクリサイクル商会 (YSファクトリー)

寒川町小動307-1 / 厚木市酒井2413-1 古物許可番号 第452740019224号